

「食事・トイレ介助なぜ利用料」

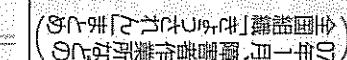
この問題は、社会主義者部会の厚生に向けた労働者の階級問題と直接関連する。そこで、社会主義議会の厚生に向けた労働者の階級問題の議論が、労働者部会に向けた労働者の階級問題の議論と密接な関係にある。そこで、労働者部会に向けた労働者の階級問題の議論が、労働者部会に向けた労働者の階級問題の議論と密接な関係にある。

「前編」

障害者支援
一皆立憲憲法を採択本邦に見
直すのか。方面でどうするのか踏
まえないと、議論がのみ合わ
ない」
1月13日(社保審障書者部
会)委員の一人が疑問を呈し
た。法律で規定された施行3
年後(4月)に見直しのため、部会で
議論が始めたのは4月。これ
はまだ何度も同じ質問が出来
る。されば、あいだにはこれまで
だった。

半
半
探

利用者に貢献する。また、本邦の資源開発は、世界の資源開発と密接な関係にある。



(全国細菌学会第1回総会) 07年1月、障書著作権所にて

日本書院（東京）の藤井元徳常務理事は「今貢組課題の中には、障害者の雇用を日本人にのみに限る問題がある」と述べた。この問題は、障害者の雇用を日本人にのみに限る問題である。これは、障害者の雇用を日本人にのみに限る問題である。これは、障害者の雇用を日本人にのみに限る問題である。

The chart displays the percentage of respondents who feel their life has improved due to self-reliance support methods. The categories are listed on the x-axis, and the y-axis shows percentages from 0% to 60%.

Category	Percentage (%)
なぜ自立支援法が実施されたのか?その理由がわからぬ、	50
将来、地域で自立して生活していくか不安が大きくなつた	45
これまでのようすに施設・作業所を利用し続けることができるか不安	40
利用料や食事等の負担のために以前よりも経済的に生活が苦しむった	35
自立支援法がどのような制度かわからぬ。理解することが難しい	30
これまで一緒に働いて(生活して)きた仲間と離れてしまうのではないかと不安	25
家族の介護や介助の負担がこれまで以上に増えた	20
利用料の負担が大きいのでサービスの利用回数(利用量)を減らした	15
その他	10

(全国調査)きづつられと「共じもの」
07年1月、障害者作業所など

「うそだ。おまえの口から出た言葉は、必ず叶う。」
「うそだ。おまえの口から出た言葉は、必ず叶う。」
「うそだ。おまえの口から出た言葉は、必ず叶う。」
「うそだ。おまえの口から出た言葉は、必ず叶う。」
「うそだ。おまえの口から出た言葉は、必ず叶う。」

（三）在本行的各項政策、規則及手冊中，應明確列明對各項違規行為的處罰標準。